



発行所 高知市丸の内一丁目3の30 全国林野関連労働組合 四国地方本部 TEL821-2238 発行責任者 平松龍之典

当面の日程

- 2023 / 9 / 22 森林労連四国地連第25回定期大会 第10回事業体協議会及び四国森林管理局交渉(高知市)
2023 / 9 / 23 四国地方森林労連共済推進会議(高知市)
2023 / 10 / 13 全国代表者会議(東京都)
2023 / 10 / 14 森林労連共済代表委員会(東京都)

窓口メモ

- ◇ GSS端末への移行に向けた対応について(ソフトウェアの把握等)(8/10)
◇ 非常勤職員の給与振込方法の変更に係る留意事項について(9/1)
◇ 公務災害の発生について(9/1)
◇ 蜂刺され災害に伴う自動注射器の使用事例と今後の対策について(2023年度第1号東北森林管理局)(9/6)

第19回全国大会

地本大会意見を反映

課題解消に向けて対応求める

7月29日、林野労組第19回定期全国大会が東京都・連合会館で開催されました。大会議長には、高橋代議員(東北地本)、宮下代議員(中部地本)が選出され議事が進められました。全国大会では、森林・林業・木材関連産業政策の推進、国有林野事業の推進、労働条件の改善など諸課題の要求実現に向けて、中央・地本・分会が一体となって取り組むことを確認するとともに、提案された全ての議案は全会一致で承認され、本部新執行体制が確認されました。

組織・定員 要員関連課題

組織・定員、要員関連課題では、空席ポストの解消をはじめ、新規採用者の拡大、昇任・昇格基準の見直しなど、本部交渉の強化を求める意見が寄せられました。



▲第19回定期全国大会 一般林政課題、国有林野事業の推進、組織強化に向けた取り組み等、各種課題の前進に向け団結カンパロー

地本は、職員の業務負担が増加している実態解消、負担軽減に向けた本部交渉の強化、特に非常勤職員の雇用予算の確保、現場管理機能の確保に向けた期間業務職員の雇用予算の確保などについて本部見解を求めました。本部は、全国的に森林官の欠員が増加していることから、現場官庁としての特殊性を踏まえた要員配置となるよう林野庁姿勢を厳しく追及しているとし、引き続き、新規採用者の継続確保、職場実態に基づく組織・定員の確保、非常勤職員予算の確保、昇任・昇格基準の見直し等の課題の解消に向け、本部段階での取り組みを強化していくとの見解が示されました。



業務運営関連課題では、近年の集中豪雨に見られる災害復旧への対応、林道維

業務運営課題



持修繕に必要な予算不足に対する対策の強化、債務返済に係る課題、収穫量の増加に伴う収穫調査業務への対応など、業務量の増加に対する事業実行体制の確保について、本部交渉の強化を求めました。

労働条件課題

労働条件課題としては、再任用職員の処遇改善、定年の段階的引き上げに係る意見が出されました。地本は、給与水準が7割とされる状況に対して組合員からは不満の声があることをはじめ、定年の段階的引き上げを踏まえ、55歳以上の昇給号俸数の制限は速やかに廃止し、定年まで昇給できる仕組みとする



把握させながら必要な維持修繕が可能となる予算措置を求めていくとし、また、事務軽減も含めた職員の負担軽減について林野庁に對策を求めていくとの見解が示されました。



組織強化に向けて 組織態勢の確立、組織強化については、林野労組の最重要課題であり、地本と

組織強化に向けて

と、また、再任用職員の処遇改善に向けた本部交渉の強化等を求めました。本部は、2024年度の暫定再任用の制度設計について交渉を継続しているとしており、地本としても当局交渉をはじめ、人事院四国事務局への改善要望等を実施するなど、本部・地本段階での取り組みを強化していくことを確認しました。

しては、全国的な取り組みの意思統一を図るためにも組織化対策会議(WEB会議)をはじめ、林野労組本部が取り組んでいる国会対策、林野庁交渉など、労働組合の取り組みを組合員へ伝えていくことを通じて、組織全体での取り組みとしていくことについて意見反映を行いました。

子ども未来戦略方針」が6月13日に閣議決定された。方針では今後3年間に年間3兆円半ばの予算を確保し年収制限を撤廃し第三子以降に月3万円を検討している。しかし日本の少子化は予想以上に早く進んでいる。

自然災害への備えを 建物等の被災の際はフリーコールへ

森林労連共済については、組合員の相互扶助と団結強化を目的に、森林労連共済が取り扱う各種補償への加入を推進しています。9月23日(土)には、「四国地方森林労連共済推進会議」を開催し、2024年1月の契約更改に向け

被害等により罹災された方には、心からお見舞い申し上げます。住まいる共済(火災共済)の加入の方で住宅等について、修理等を行う前には、写真等をとった上で、以下(下枠)の被災受付であるフリーコールへご一報をお

願います。(田所りる子)

森林労連共済推進本部 フリーコール(平日のみ) 9:30~17:00 TEL 0120-310-856

車の事故受付は24時間対応 TEL 0120-0889-24

子ども未来戦略方針」が6月13日に閣議決定された。方針では今後3年間に年間3兆円半ばの予算を確保し年収制限を撤廃し第三子以降に月3万円を検討している。しかし日本の少子化は予想以上に早く進んでいる。



少子化対策のための「子ども未来戦略方針」が6月13日に閣議決定された。方針では今後3年間に年間3兆円半ばの予算を確保し年収制限を撤廃し第三子以降に月3万円を検討している。しかし日本の少子化は予想以上に早く進んでいる。

第19回分会青年女性委員長会議

青年・女性運動の前進へ

安心して働き続けられる職場を目指して

【青女委員会発】

9月2、3日、林野労組
四国地本第19回分会青年
女性委員長会議を開催し、
分会青年女性委員長及び傍

聴者含め22人の仲間が参
加しました。

冒頭、荒牧青年女性委員
長より「今後の活動へ一歩
踏み出し、一人ひとりが自

分の言葉で実態を共有しな
がら、同じ悩みを持つ仲間
と交流し今後の活動への展
望を見出してください」と

全体討論では各分会から
2022年度の運動の総括
が報告され、その中では
「各々が忙しく平日に時間
が取れず集まりにくい」

実態や、「悩んでいるのは
自分だけではなく安心した
」問題意識を持つことが大
切だと感じた」などの感想
が出されました。



▲写真上：荒牧委員長の音頭で団結ガンパロー

▼写真下：参加者全体で記念撮影



「昼休みを利用して定例会
を開催している」などの集
まり話し合う場の確保に向
けた取り組みが報告され、
分会活動について全体で相
互討論を行いました。

分散会討論では「責任の
大きいポストに1G・2G
の一般職員で配置させられ
不安」「休日に行われる森
林教室に若手が必ず出ない
といけない雰囲気がある」
などの生活・職場における

参議院議員補欠選挙 (徳島・高知選挙区) 10月5日公示、22日投開票

組織討議資料

「広田はじめ」氏の勝利を



前自民党参議院議員（徳島・高知選挙区）の秘書への暴力行為による議員辞職によって、10月5日公示、22日投開票で参議院議員補欠選挙が実施されます。林野労組としては、無所属で立候補を予定している「広田はじめ」氏を推薦決定しました。

今回の補欠選挙は、政治不信を払拭し、高知・徳島選挙区から国民の手に政治を取り戻す契機にすることができると問われる選挙です。自民党一強政治ではなく、少なくとも与野党伯仲の政治構図まで持ち込むことが重要となっており、推薦候補者の勝利に向けて、組合員、家族の皆さんのご協力をお願いします。

森林労連第34回定期全国大会



未組織林業労働者の組織化を意思統一

7月30日、森林労連第34回定期全国大会が東京都・連合会館で開催されました。

森林労連四国地連からは、宮口・後藤代議員（林野労組）、赤松代議員（全山労愛媛）、小田代議員（全山労高知）の4名と、林野労組傍聴5名が参加しました。

粉症そのものがなくなるわけではないことなど、懸念される課題について本段階での対応を求めました。

また、全山労高知の小田代議員からは、「新しい林業」では、生産性向上を通じて、伐採から再造林・保育に至る収支のプラス転換を可能とするとしているが、生産性向上のみで林業労働者の地位向上、処遇改善には結びつかない。経済政策を軸に取り組んできた「旧」林業基本法が破綻した経過

をみたとき、現在の「森林・林業基本計画」に対する本部としての評価等について、見解を求めました。本部からは、現在の「森林・林業基本計画」には、森林の持つ公益的機能の発揮の観点から盛り込まれ、その機能を発揮させるための予算、政策を展開するとの意味では、現在の基本計画を推進していくスタンスではあるが、基本計画全体を「了」とするのではなく、不十分な政策については予算の拡充や政策の豊富化を求めて取り組んでいる。「新しい林業」で示されている生産性向上に向けた政策、考え方のみを持って、



▲写真上：退任の挨拶
山中常任委員（左）平松副委員長（右）



▼青年女性委員長会議で確認された
新常任委員（8人）

【地本青年女性委員会体制】	
青年女性委員長	荒牧 直輝（嶺北分会）
副青年女性委員長	中村光太郎（局 分会）
事務局長	山口健太郎（安芸分会）
常任委員	筒井 達朗（嶺北分会）
常任委員	江嶋 健人（嶺北分会）
常任委員	白石 快（愛媛分会）
常任委員	木村 有希（愛媛分会）
常任委員	村尾 千尋（嶺北分会）
選挙管理委員	平山 薫（局 分会）

ボウリング大会の風景

【荒牧青女委員長談】
第19回青年女性委員長会議の2日目は、ボウリング大会を実施。前日の懇親会で飲み疲れている仲間もいたが、大変盛り上がり、親睦を深めることができた。
ハイスコアをたたき出したのは、香川分会の石本雄大さん。力強い投球フォームで投げ出された14ポンド（約6・4キロ）のボールは、ヘッドピンにことごとく命中！。それを懸命に追いかける仲間たち。結果は、ハイゲームで188のスコアを刻んだ石本雄大さんが逃げ切り。地本常任委員の筒井さんは僅差で及ばなかった。
一方私は・・・前日の懇親会で飲み過ぎなければ・・・



【報告・酒井（地本）】